

謹賀新年



政策決定の過程を
明らかにする議会へ

甲賀市議会議長 林田 久充



飛躍の年に

甲賀市長 岩永 裕貴

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、平成31年の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、市民の皆様のお陰をもちまして市長に就任させていただいてから昨年10月末で丸2年となりました。本格的な人口減少社会の到来や全国各地での地震、豪雨災害の頻発、さらには経済・社会のグローバル化など、社会情勢が大きく変わる中、市長という重責をお預かりし、これまで2年間、市民の皆様様の活動の場に寄せていただき、お声を伺いながら全力で走り続けてまいりました。

一昨年に策定した第2次甲賀市総合計画がめざす未来像、「**あ**い甲賀 **い**つもの暮らしに「**し**あわせ」を感じるまち」の実現に向けては、市役所が一丸となって各種施策を進めることはもちろん、市民や関係団体の皆様、また事業者の皆様などにご協力いただきながら、それぞれの力を最大限に引き出すオール甲賀の取り組みが大変重要です。

今春には、甲賀警察署北側で整備を進めている「甲賀市まちづくり活動センター」がオープンします。市民の皆様がつどい、つながり、地域をよくしたいという願いが確かな形になるよう、まさにオール甲賀の拠点として運営してまいります。

今、甲賀市は、さらなる飛躍にむけて全国から注目される話題で溢れています。今秋には、甲賀市が舞台のNHK連続テレビ小説「スカーレット」の放映が始まり、さらに来年2020年は、本市での六古窯サミット開催、また東京オリンピック・パラリンピックを契機としたホストタウン シンガポールとの連携、2021年は全国植樹祭開催など、絶好のチャンスを活かし市民の皆様様の幸福、豊かさに結びつけていかなくてはなりません。

本年も本市の輝く未来に向けた取り組みに全力で突き進んでまいりますので、一層のお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新春の門出にあたり、市民の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、新春を迎え、議会と議員のこれからのあるべき姿を思い描いています。議員は、身近な地域の代表でもあります。甲賀市にとって「何が有益か」を「全体の市民の暮らしが良くなるか」、甲賀市の未来像に対して有効な「手を打つこと」の重要性を見定めることが求められています。中長期的な視点から地域のビジョンを具体化するために、議員は「まちづくりコンサルタント」としての役割を果たすべきではと考えています。具体的には、市民の皆様に対して、地域に対して、行政に対して「より良き方法」を考え、制度設計や予算化に知恵を出し共に実践することだと思えます。行政の執行状況を監視するだけでなく、市民の声を政策形成する能力が求められています。甲賀市の「課題の発見」から「事業、制度の実施」まで市民の皆様とともに議論し、最も大事にすべき方向性と論点を共有したうえで、意思決定に責任を持つ議会になるべきと考えています。そのためには、物事が決まっていく過程を、地域や市民の皆さんに見えるようにさらなる努力をいたします。

また、人口減少社会は、「選択の時代」「維持管理の時代」「地域で支えあう時代」であり、地域の価値を自ら見出し、創造する時代でもあります。人々の知恵と想いと情熱を結集するために、議会も「市民参加」「情報提供」の取り組みを進め、広報とともに広聴活動に力を入れる一年となります。あらためて市政運営に関してのご意見、ご提案等をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成31年度も、市民の皆様にとって幸多き年となりますよう議員一同心よりご祈念申し上げます。